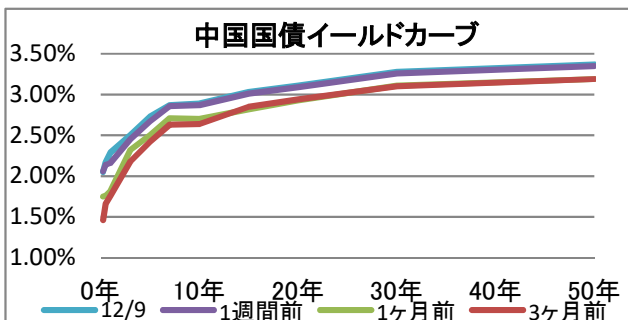
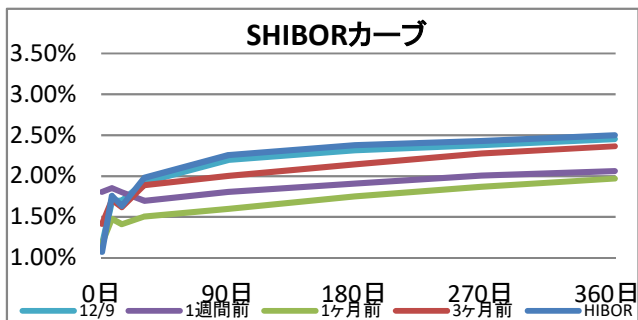


基準レート		2022/12/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9588	-0.0954
	JPY/CNY	5.0912	-0.1265
SHIBOR	3M	2.2590%	+0.0590%
国債利回り	10年	2.89%	+0.02%
上海総合指数		3,206.95	+50.81



(1) 概況

国際金融市場では、米国経済指標の一部が予想を上回ったことから、FRBの金融引締め減速期待剥落から株価は下落、債券利回りは上昇に転じている。

中国金融市場では、経済指標は悪化したものの、不動産支援策への期待に加えてコロナ対応措置の大幅な緩和策公表を受けて株式市場は総じて堅調に推移して3200台に乗せ、債券利回りは上昇。外為市場では、コロナ対応緩和策を受けた国外資金流入増等から人民元の買い戻しが続いており、対ドルでは9月以来の1ドル7元割れとなっている。

中国では、習近平主席が中央政治局会議において来年の経済方針（積極的な財政政策と穏健な金融政策の継続、対外開放政策の水準引上げ、重大な経済金融リスクの防止等）を示し、初の「中国アラブサミット」に出席するためサウジアラビアを訪問してリヤド宣言を採択し、「石油や天然ガス輸入の人民元建て決済」を呼びかけ、李総理は国際機関トップとの会談で、コロナ措置緩和に伴う経済成長の回復に自信を示し、上海では上海国際金融センター建設に向けたフォーラムが開催されている。国家発展改革委員会は、インフラREIT運営における注意事項6項目を、証監会は今後のREIT市場拡大のための5重点作業項目を示し、インフラ分野を中心にREIT市場拡大に向けた方針を示している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3170億元に対して、新規リバースオペ100億元を実施し、ネットで億元3070億元を吸収。なお、12月5日の預金準備率引下げに伴い、5000億元程度が市場に還元されている。

(3) 主な経済指標

- ・財新PMI (11月) は、サービス業が46.7 (10月48.4)、製造業と併せた総合指数が47.0 (10月48.3) と、コロナ感染再拡大によるサービス業への影響から前月を下回る水準となった。
- ・輸出 (11月) は、前年比-8.7% (10月、同-0.3%)、輸入 (11月) は-10.6% (10月、同-0.7%) といずれも大幅減少。輸出は外需減退やコロナ感染再拡大による生産やサプライチェーンの停滞が、輸入は内需の低迷が影響した模様。
- ・CPI (11月) は、前年比+1.6% (10月、同+2.1%) と2か月連続で上昇幅が縮小。食品が前年比+3.7% (10月、同+7.7%) と、食品の上昇幅低下に加え不動産賃貸の下落幅も拡大。コアCPIは前年比+0.6%と10月対比横ばい。
- ・PPI (11月) は、前年比-1.3% (10月同-1.3%) と2か月連続で前年割れとなった。高水準であった前年同月の裏要因に加え、資源・素材価格の下落幅が大きく、不動産市場低迷やコロナ感染拡大に伴う内需減少の影響が指摘されている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.0710%	1.2500%	1.8000%	
1W	1.7590%	1.8300%	4.0000%	
2W	1.6350%	1.7000%	2.1000%	1.4000%
1M	1.9780%	1.9780%	3.6000%	2.2200%
3M	2.2590%	3.0000%	2.6000%	2.3700%
6M	2.3790%		2.7000%	2.4750%
9M	2.4290%			2.6000%
12M	2.5000%	3.1000%		2.6100%

預金準備率引き下げ効果から足元の市場需給は安定しているものの、コロナ規制緩和や不動産向け融資拡大に伴う資金需要拡大を背景にターム物の金利水準は総じて上昇を続けている。ターム物は、1ヶ月物の2.5%前後での出合いを除き出合いは限定的。

NCDも、金利水準の高まりより年末と春節が更に意識されることとなり、ターム物の金利水準は一段と上昇。1ヶ月は2.2%台、3ヶ月が2.35%前後、6ヶ月は2.5%前後、1年が2.6%台に上昇して取引されている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	3.80%	3.81%
1W	3.95%	4.00%
1M	4.40%	4.50%
3M	5.40%	5.50%
6M	5.60%	5.65%
12M	5.70%	5.75%

インフレ指標やFOMCを控えていることから、中国国内市場のターム物の金利水準は概ね高水準で横ばい推移。ターム物は出合いは1ヶ月の4.4%台での出合いを除き限定的。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.05%		2.52%	2.55%	2.98%
6M	2.17%		2.60%	2.72%	3.16%
1Y	2.29%	2.32%	2.69%	2.87%	3.34%
3Y	2.50%	2.69%	2.96%	3.35%	3.92%
5Y	2.73%	2.85%	3.15%	3.50%	4.14%
10Y	2.89%	3.01%	3.40%	3.64%	4.32%

債券市場では、年末要因やゼロコロナ政策緩和による景気回復への期待が高まり上値の重い展開となる中、預金準備率引き下げによる短期資金の需給緩和や中共中央政治局会議で2023年の経済運営が積極的な財政政策と穏健な金融政策の継続が確認されると底堅さも加わり、狭いレンジ内での取引となった。米国債利回りはCPIとFOMCを控えて金融引締め減速期待が剥落する格好で上昇に転じて10年米国債利回り（3.58%、+9bp）が上昇に転じたことから、中国国債利回り（2.89%、+2bp）の上回り幅は+69BP（前週比+7bp）5週間ぶりに拡大に転じている。

イールドカーブは、短期と信用債を中心に利回りの上昇が続いていることから、一段のフラットニングとクレジットスプレッドの拡大が続いている。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-175.5 / -175.0
3M	-528.0 / -526.0
6M	-1077.0 / -1072.0
9M	-1589.0 / -1576.0
12M	-2010.0 / -2007.0

対ドル基準レートは6.9588と前週比-954pipsのドル安元高、対円基準レートは5.0912と同-1265pipsの円安元高と、ゼロコロナ政策緩和による景気回復期待から元の買戻しが続く元高を映じた設定となっている。中国国内市場では、貿易収支が輸出入ともに減少して黒字額も縮小したものの、ゼロコロナ政策緩和と米国金融引締め減速への期待から人民元の買戻しの動きや国外投資資金の流入も続いており、ドル人民元は7.0を上限に6.97中心の狭いレンジ取引が続いている。

先物は、CPIとFOMCを翌週に控えていることから動意に乏しい状況が続き、1年物で-1900台を中心とする小幅な値動きに終始している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.04%		1.57%
6M	2.14%	2.39%	1.74%
9M	2.20%	2.45%	1.82%
1Y	2.26%	2.52%	1.94%
3Y	2.63%	2.93%	2.00%
5Y	2.86%	3.25%	
7Y	3.01%	3.43%	
10Y	3.15%	3.60%	

スワップ金利は、基準金利、債券利回りともに上昇を続けていることから一段と上昇し、スワップスプレッドも小幅ながら拡大に転じている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお選する書面や目録見書をよくお読みください。